

株主・投資家の皆様へ

第61期 ビジネスレポート

2008年4月1日 >>> 2009年3月31日



## 株主・投資家の皆様へ



株主および投資家の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに、当社第61期（2008年4月1日から2009年3月31日）のビジネスレポートをお届けし、ご挨拶かたがた、当社事業の概況につきご報告致したいと存じます。

当期は、世界経済の急速な悪化により、当社グループ主力商品の需要先である液晶テレビに代表される電子・情報分野をはじめ家電、自動車など各分野におきまして需要が激減し、粘着剤、微粉体などケミカルズ製品の販売数量が大幅に落ち込みました。

このような状況に対処すべく、当社グループは、生産効率の向上や固定費削減、設備投資抑制等あらゆる面でのコスト削減と受注の確保に鋭意取り組んでまいりましたが、当期業績は販売数量の減少に加え、原材料価格の上昇、前年度に増強した生産設備の減価償却費の負担等により、遺憾ながら前期実績を大きく下回る結果となりました。

第62期（2009年4月1日から2010年3月31日）におきましても、引き続き厳しい経営環境が継続するものと予想しておりますが、この厳しい状況を体質改善のチャンスと前向きにとらえ、受注の確保・拡大策の推進、商品開発の早期化、コスト競争力の強化等に努力し、収益力の向上と中長期的成長のための基盤固めを図り、難局を乗り切ってまいれる所存です。

また、業績向上と併せ、コーポレートガバナンス体制を一層充実させた組織運営、社会貢献、地球環境保全などあらゆる面において「存在感のあるエクセレントカンパニー」を目指し、全力を尽くしてまいりますので、株主および投資家の皆様には、今後とも、より一層のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2009年6月 代表取締役会長 **中島 幹**  
代表取締役社長 **大岡 實**



代表取締役社長 **大岡 實** 代表取締役会長 **中島 幹**

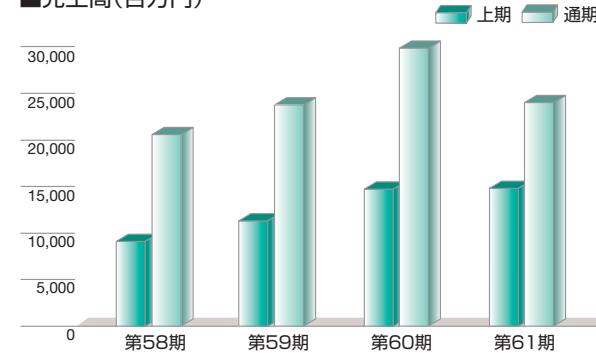
## 営業の概況



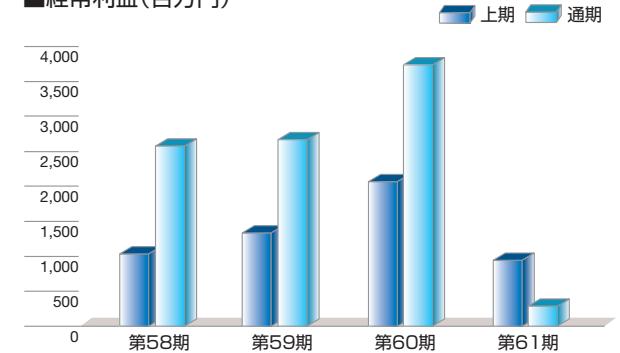
営業成績および財産の状況の推移（連結）

区 分	第58期		第59期		第60期		第61期	
	上期 (平成17年4月1日～ 平成17年9月30日)	通期 (平成17年4月1日～ 平成18年3月31日)	上期 (平成18年4月1日～ 平成18年9月30日)	通期 (平成18年4月1日～ 平成19年3月31日)	上期 (平成19年4月1日～ 平成19年9月30日)	通期 (平成19年4月1日～ 平成20年3月31日)	上期 (平成20年4月1日～ 平成20年9月30日)	通期 (平成20年4月1日～ 平成21年3月31日)
売上高 (百万円)	9,135	20,539	11,299	23,788	14,707	29,823	14,792	23,983
経常利益 (百万円)	1,031	2,573	1,341	2,664	2,072	3,738	938	287
当期(上期)純利益 (百万円)	668	1,647	891	1,591	1,348	2,248	573	△ 104
1株当たり当期(上期)純利益 (円)	93.68	220.24	107.63	192.11	162.71	271.38	69.22	△12.61
純資産 (百万円)	6,534	11,695	12,675	13,524	14,774	15,485	15,784	14,577
総資産 (百万円)	15,718	23,064	23,897	25,063	28,732	30,293	29,690	25,229

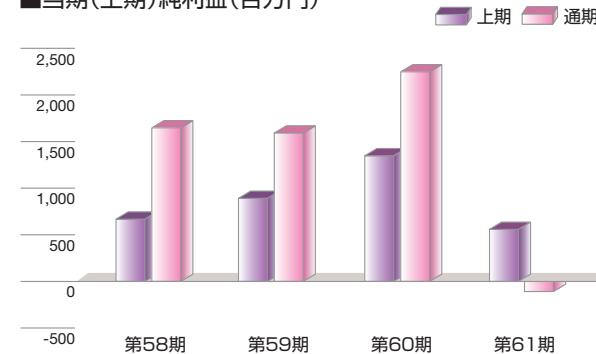
■売上高(百万円)



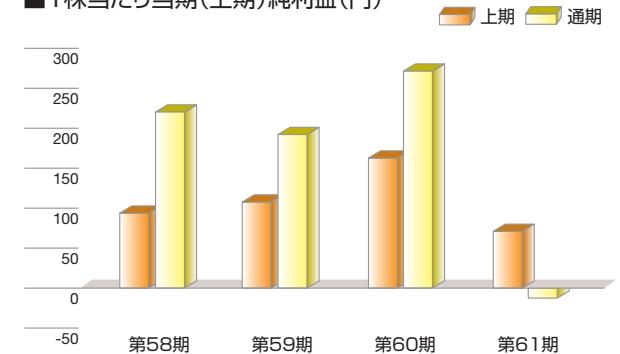
■経常利益(百万円)



■当期(上期)純利益(百万円)



■1株当たり当期(上期)純利益(円)



(注記) 四半期会計基準等の適用初年度のため、増減等は参考として記載しています。このレポートでは、「第2四半期累計」を「上期」と記述しています。



## 未来を築くSOKENの材料技術

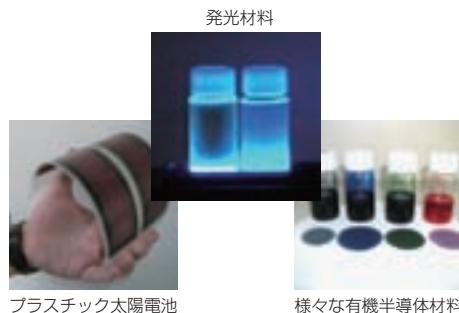
綜研化学は、創業以来、「技術を通して社会に貢献する」という理念を掲げ、先進的な製品の研究・開発・提供に努めてまいりました。

その理念のもと、60年を超える長い歴史のなかで培ったポリマー技術を活かし、新規事業の核となる材料開発を進めています。

今回は、当社が注力する開発テーマ「有機半導体デバイス材料」への取り組みについてご紹介します。

### 特徴ある材料で、幅広い分野に

当社の将来の成長を担う新規事業の一つである「有機半導体デバイス材料」とは、電気を流したり、光ったり、熱や光を電気に変えたりできるプラスチックのことで、これらの材料を組み合わせることで、ラジオやテレビ・電話・電灯を全てプラスチックで作ることができるようになります。現在開発中の材料は、太陽電池・燃料電池・2次電池などの次世代エネルギー分野、また有機ELなどのディスプレイにも使用できる可能性を持っています。



プラスチック太陽電池

様々な有機半導体材料

#### ● 有機半導体デバイスの事業領域

SOKENの材料は様々な分野で利用できます

有機半導体デバイス材料

次世代エネルギー分野

ディスプレイ材料分野

燃料電池  
2次電池

太陽電池

有機EL

デバイス材料としての可能性は無限大!

### 事業化に向けて社内外の連携強化

「有機半導体デバイス材料」の事業化に向け、研究・開発・分析・生産技術など社内の総合力を発揮するほか、大学や公的研究機関など、社外からの技術協力を受け実用化に向け開発を進めています。現在注力している太陽電池向けの色素については、独立行政法人 産業技術総合研究所から技術移転を受け、共同研究にて改良に取り組み、既にサンプル対応を始めています。また、電気を流すプラスチック「導電性ポリマー」についても、事業の中核となるよう積極的な開発・改良を進めています。



開発チームのミーティング風景

さらに、お客様のニーズを的確・迅速に把握するため、開発に関わる研究員が自ら足を運び、お客様との情報交換も積極的に行っています。お客様との信頼関係を築くなかで、ニーズに応えるだけでなく、製品自体の技術力のレベルアップも図っていきます。

### SOKENの材料が世の中を変える

当社が誇る「材料技術」と印刷技術を融合させ、「プリンテッド・エレクトロニクス技術」という新しい領域への展開も視野にいれています。現在のデバイス材料の製造方法は、作業工程が多く設備投資負担が大きいのですが、印刷技術を用いることで作業が飛躍的に効率化され、大量に、そして高速に製造ができるようになります。当社は、このような製造方法に対応した材料の開発を進めています。

次世代技術領域へ焦点を合わせ、長期的視点で産業社会に大きく貢献できるような材料開発に今後も取り組んでまいります。

#### ● 第62期業績見通し

当社グループを取り巻く事業環境は、引き続き厳しい状況が続くものと予想されますが、徹底したコストダウンと受注確保に取り組み、収益確保に努めてまいります。

具体的には、生産・物流までの全工程での更なる効率化による変動費削減、設備投資の抑制と合理化策を含めた固定費の圧縮によるコストダウン、また、電子・情報分野向け製品の競争力と製品開発力を強化し市場ニーズに迅速・的確に対応するとともに、環境配慮型製品等の高付加価値製品の拡販と既存製品の新規用途開拓により、受注確保に取り組んでまいります。

以上により、第62期の業績につきましては、売上高は220億円と前期より減収となりますが、経常利益は7億円、当期純利益は3億円と利益確保を目論んでおり、今後この計画を上回る事ができるよう鋭意経営努力を重ねてまいります。

	第62期見通し	第61期	差異
売上高	22,000	23,983	△1,983
経常利益	700	287	413
当期純利益	300	△104	404

(百万円)

## 財務諸表(連結)

### 連結貸借対照表(要旨) (単位:千円)

科目	第61期	第60期
	(平成21年3月31日現在)	(平成20年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	10,819,491	14,921,117
固定資産	14,409,793	15,372,788
有形固定資産	12,410,932	13,457,485
無形固定資産	279,941	446,812
投資その他の資産	1,718,918	1,468,491
資産合計	25,229,285	30,293,906
(負債の部)		
流動負債	6,828,029	13,297,974
固定負債	3,823,819	1,510,905
負債合計	10,651,849	14,808,879
(純資産の部)		
株主資本	14,321,325	14,712,612
資本金	3,361,563	3,361,563
資本剰余金	3,402,816	3,402,813
利益剰余金	7,567,835	7,959,213
自己株式	△ 10,889	△ 10,977
評価・換算差額等	△ 135,117	326,377
少数株主持分	391,228	446,036
純資産合計	14,577,436	15,485,026
負債純資産合計	25,229,285	30,293,906

### 連結株主資本等変動計算書 (平成20年4月1日から平成21年3月31日まで) (単位:千円)

	株主資本				株主資本合計	評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式		その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成20年3月31日残高	3,361,563	3,402,813	7,959,213	△ 10,977	14,712,612	40,878	285,498	326,377	446,036	15,485,026
在外子会社の会計処理の変更に伴う増減			3,151		3,151					3,151
連結会計年度中の変動額										
自己株式の処分		3		139	143					143
剰余金の配当			△ 290,021		△ 290,021					△ 290,021
当期純利益又は当期純損失(△)			△ 104,508		△ 104,508					△ 104,508
自己株式の取得				△ 52	△ 52					△ 52
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)						△ 47,174	△ 414,320	△ 461,495	△ 54,808	△ 516,303
連結会計年度中の変動額合計	-	3	△ 394,529	87	△ 394,438	△ 47,174	△ 414,320	△ 461,495	△ 54,808	△ 910,742
平成21年3月31日残高	3,361,563	3,402,816	7,567,835	△ 10,889	14,321,325	△ 6,295	△ 128,822	△ 135,117	391,228	14,577,436

### 連結損益計算書(要旨) (単位:千円)

科目	第61期	第60期
	(平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)	(平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)
売上高	23,983,080	29,823,120
営業利益	358,197	3,768,995
経常利益	287,059	3,738,146
当期純利益又は当期純損失(△)	△ 104,508	2,248,768

### 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨) (単位:千円)

科目	第61期	第60期
	(平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)	(平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	901,782	3,317,133
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,071,875	△ 5,148,496
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,082,182	482,112
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 55,358	△ 1,960
現金及び現金同等物の増減額	△ 143,269	△ 1,351,210
現金及び現金同等物の期首残高	2,071,627	3,422,838
現金及び現金同等物の期末残高	1,928,358	2,071,627

## 財務諸表(単体)

### 貸借対照表(要旨) (単位:千円)

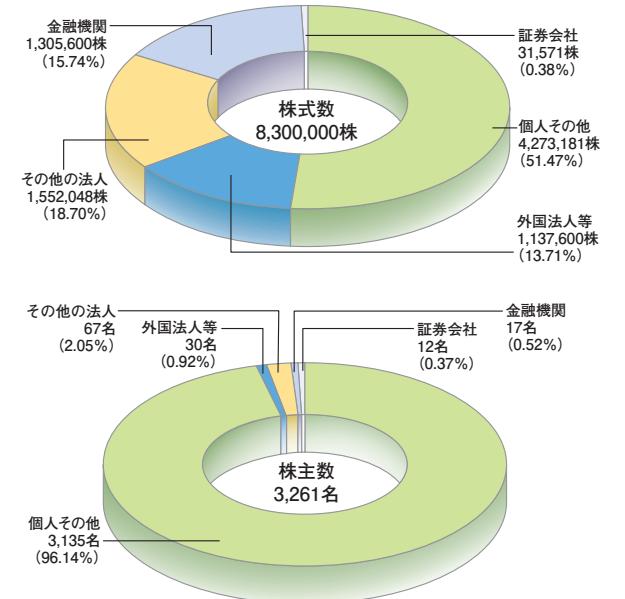
科目	第61期	第60期
	(平成21年3月31日現在)	(平成20年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	7,161,429	9,655,488
固定資産	13,527,371	14,268,967
有形固定資産	10,034,157	11,213,367
無形固定資産	164,238	103,798
投資その他の資産	3,328,975	2,951,801
資産合計	20,688,800	23,924,456
(負債の部)		
流動負債	4,801,245	9,925,816
固定負債	3,192,594	1,021,032
負債合計	7,993,839	10,946,849
(純資産の部)		
株主資本	12,701,256	12,936,358
資本金	3,361,563	3,361,563
資本剰余金	3,402,816	3,402,813
利益剰余金	5,947,766	6,182,959
自己株式	△ 10,889	△ 10,977
評価・換算差額等	△ 6,295	41,248
純資産合計	12,694,961	12,977,607
負債純資産合計	20,688,800	23,924,456

### 損益計算書(要旨) (単位:千円)

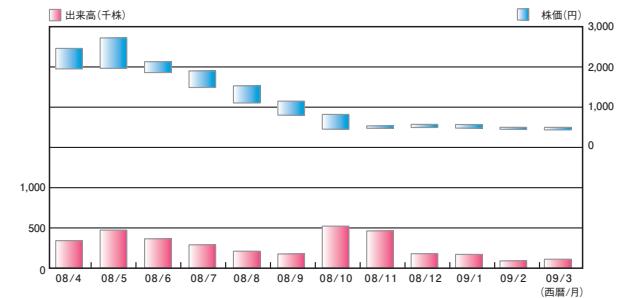
科目	第61期	第60期
	(平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)	(平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)
売上高	16,599,770	21,315,684
営業利益又は営業損失(△)	△ 603,256	2,211,538
経常利益	157,304	2,656,823
当期純利益	54,828	1,600,771

## 株式の状況

- 発行可能株式総数 33,200,000株
- 発行済株式の総数 8,300,000株
- 株主数 3,261名
- 所有者別株式分布状況



### 株主数(高値・安値)および株式出来高の推移



## 会社の概況



### ■会社概要

社名 綜研化学株式会社

資本金 3,361,563千円

主要な事業内容

- ケミカルズ部門では、粘・接着剤、微粉体、特殊機能材、加工製品等の開発、製造、販売を行っております。
- 装置システム部門では、装置・システムの販売、生産システムのエンジニアリング、プラントのメンテナンス、熱媒体油の輸入販売を行っております。

### ■役員（平成21年6月24日現在）

代表取締役会長	中 島 幹
代表取締役社長	大 岡 實
取締役副社長（狭山事業所長）	川 瀬 進
取締役副社長	日 向 芳 明
取締役（研究開発センター長）	池 田 裕 治
取締役（社長室長）	阿 部 英 紀
取締役（購買部長）	御手洗 寿 雄
取締役	逢 坂 紀 行
常勤監査役	安 藤 隆 夫
監査役	北 尾 哲 郎
監査役	白 井 良 雄

注）監査役北尾哲郎氏ならびに白井良雄氏は社外監査役であります。

### ■事業所

事業所名 所在地

本社 東京都豊島区高田3-29-5

狭山事業所 埼玉県狭山市広瀬東1-13-1

浜岡事業所 静岡県御前崎市池新田8665-1

### ■主要な子会社等

- 綜研テクニクス株式会社 ●浜岡綜研株式会社
- 狭山綜研株式会社 ●Soken Chemical Singapore Pte. Ltd.
- 綜研化学（蘇州）有限公司 ●寧波綜研化学有限公司
- Soken Chemical Asia Co., Ltd.



本社 〒171-8531 東京都豊島区高田三丁目29番5号

TEL：03-3983-3171 FAX：03-3988-9216 URL：http://www.soken-ce.co.jp

## 株主メモ



事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
定時株主総会 毎年6月開催  
期末配当金支払基準日 3月31日  
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社  
株主名簿管理人事務取扱場所（郵便物送付先） 東京都中央区八重洲二丁目3番1号 住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10号 住友信託銀行株式会社 証券代行部  
（電話照会先） 0120-176-417  
単元株式数 100株  
公告の方法 当社のホームページに掲載する。  
URL: <http://www.soken-ce.co.jp>

上場証券取引所 ジャスダック証券取引所

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】  
証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

### 【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていたなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座（特別口座といいます。）を開設いたしました。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。



本レポートの表紙絵および各ページに配している絵は、障害者ライブラリー「アートビリティ」に登録されている、アーティスト野村育葉さんの作品（作品名「HIMAWARI」）を使用させていただきました。

◎野村 育葉（のむら いくよ）

1962年、京都府生まれ。京都府在住。

幼い頃から絵を描くことが大好きで、一生描き続けたいと願いながら、いつの日かこれが「わたし」と思えるひとつが描けるよう、暗中模索、探検の日々を送っている。オリジナリティあふれる独自の世界観を持ったイラストは、デザイナーや美術関係者の間で高い評価を受けている。第17回アートビリティ大賞受賞。

◎アートビリティ

1986年に社会福祉法人東京コロニーが、障害者アーティストが自立し、自活することを支援するために設立したアートギャラリーで、作品の使用料がアーティストに還元されています。